



第4回 実用固液分離技術講習会

固液分離の基礎と実際

主催：分離技術会

協賛（予定）：化学工学会分離プロセス部会、日本液体清澄化技術工業会

日時：2015年3月4日(水) 10:20～17:15

場所：日本大学理工学部 駿河台キャンパス 8号館 4階 841教室

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅、地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分

案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

定員：80名（先着順）

固液分離技術は、化学工業、医薬・食品工業、環境工学など不可欠な技術として広く利用されています。しかしながら、現象の複雑さゆえ、今なお理論的な扱いが難しく経験の蓄積が重視される技術分野でもあります。本講習会では、下記の要領で固液分離の基礎的現象・操作の理解、装置の概要と運転方法と適応分野、効率化、固液分離装置選定法を、この分野の第一線で活躍されている講師により、現場に即したノウハウを実用的な視点で分かりやすく丁寧に解説します。

■ プログラム

1. 固液分離の基礎 (10:20～11:10) (横浜国立大学) 中村 一穂氏

固液分離の原理、装置の種類、対象となる懸濁液の特徴、関連する学問分野などについて概説し、固液分離技術の全体像を把握する。

2. 濾過助剤の特性と応用 (11:10～12:00) (昭和化学工業株) 神笠 諭氏

濾過効率を著しく改善する濾過助剤の基本的な使用方法、珪藻土やパーライト助剤の特徴、最適な選定方法について事例を交えて解説する。

<昼食 11.30～12:30>

3. 凝集剤の基礎と応用(仮) (13:00～13:50) (栗田工業株) 大井 康裕氏

凝集剤には無機/有機、カチオン性/アニオン性、分子量の程度等、多くの分類があり、特に高分子凝集剤と称するものには数多の商品があります。これらの分類、性質、機能、用途について解説するとともに、基本的な凝集現象を実演、体験して頂きます。

4. スラリー中の粒子集合状態評価 (13:50~14:40) (法政大学) 森 隆昌 氏
スラリー中の粒子集合状態 (分散・凝集) を的確に評価できる、簡便・安価な手法を紹介する。

<休 憩 14:40~15:00>

5. 固液分離の原理と実装置への応用 (15:00~15:50) (株IHI) 今岡 孝氏
固液分離の原理と分離機と濾過機の分類、および濾過機への応用と具体例 (IHI 製品の紹介) を解説する。

6. 微粒子スラリーの評価とその応用 (15:50~16:40)
(武田コロイド・コンサルティング(株)武田真一氏
微粒子スラリーの粒子径分布、ゼータ電位、分散安定性評価など評価方法の原理と応用を解説する。

7. Q&A (16:40~17:15)

参加費：維持・特別・正会員・協賛会員：17,000 円、会員外：27,000 円、同時入会：22,000 円
(含むテキスト代。書籍「実用固液分離技術」を贈呈いたします。)

学生：5,000 円 (※ただし、書籍「実用固液分離技術」の贈呈はございません。)

参加費は郵便振替または下記銀行に前納にてお振込みください。

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先：参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、下記事務局まで FAX または e-mail にてお申込ください。申し込み締切日：2014年2月25日(火)、ただし締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきますので、お早めのお申込みをお願い致します。

「第4回 実用固液分離技術講習会 固液分離の基礎と実際」

参加申込書

氏 名			
勤務先			
所 属			
所 在 地	〒		
	TEL _____		FAX _____
	e-mail _____		
送金内訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請求書	要 ・ 不要
会員資格	(正・維持・特別会員) ・ 学生 ・ 協賛団体会員 ・ 同時入会 ・ 会員外		

※上記項目は全てご記入くださいますようお願いいたします。

〒214-0034 川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571 e-mail : jimmu@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/